

氏名 (法人にあっては名称)	株式会社アルファライズ
住所	東京都渋谷区東1丁目26番20号

自社等発電所(*1)の有無	無															
電気事業の概要	<p>2018年7月1日より電力小売事業を開始し、2019年3月末現在、北海道・東北・東京・中部・関西・中国・四国・九州管内にて低圧の需要者を対象に電気の供給を行っております。</p> <p>弊社の関連会社「アルファエネシア株式会社」にて固定価格買取制度を利用した太陽光の発電事業を展開しております。</p>															
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	<p>今後において、太陽光、水力、バイオマス等の再生可能エネルギーによる電力調達を検討した後、推進してまいります。</p>															
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実排出係数(*2)</th> <th>調整後排出係数(*3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度実績 (2019年度)</td> <td>- (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</td> <td>- (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</td> </tr> <tr> <td>当年度目標 (2020年度)</td> <td>極力低減 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</td> <td>極力低減 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</td> </tr> <tr> <td>短期目標 (2026年度)</td> <td>極力低減 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</td> <td>極力低減 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</td> </tr> <tr> <td>長期目標 (2030年度)</td> <td>極力低減 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</td> <td>極力低減 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)	前年度実績 (2019年度)	- (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	- (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	当年度目標 (2020年度)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	短期目標 (2026年度)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	長期目標 (2030年度)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)
	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)													
	前年度実績 (2019年度)	- (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	- (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)													
	当年度目標 (2020年度)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)													
	短期目標 (2026年度)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)													
長期目標 (2030年度)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	極力低減 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)														
(目標に係る措置の考え方)																
<p>今後において、太陽光、水力、バイオマス等の再生可能エネルギーによる電力調達を検討した後、推進してまいります。</p>																

\*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。  
 \*2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(実二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。  
 \*3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2019年度)	- (千kWh)	- (%)
	当年度目標 (2020年度)	極力導入 (千kWh)	極力導入 (%)
	短期目標 (2026年度)	極力導入 (千kWh)	極力導入 (%)
	長期目標 (2030年度)	極力導入 (千kWh)	極力導入 (%)
	(目標に係る措置の内容)		
今後において、太陽光、水力、バイオマス等の再生可能エネルギーによる電力調達を推進してまいります。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度実績 (2019年度)	- (千kWh)	- (%)
	当年度目標 (2020年度)	極力導入 (千kWh)	極力導入 (%)
	短期目標 (2026年度)	極力導入 (千kWh)	極力導入 (%)
	長期目標 (2030年度)	極力導入 (千kWh)	極力導入 (%)
	(目標に係る措置の内容)		
今後において、太陽光、水力、バイオマス等の再生可能エネルギーによる電力調達を検討した後、推進してまいります。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	未利用エネルギーに関しては、今後利用を検討した後、推進してまいります。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	弊社は火力発電所を保有しておりません。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	今後、使用電力が見える化できるサービスを検討してまいります。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	オフィスでは、クールビズを推奨し、空調を28度に設定しております。また自社の事業所や関連会社の運営店舗の照明をLED化することで省エネルギー化を図っております。		

\*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。

\*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。

\*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

\*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。

\*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。